

「地域を支える建設業」検討会議

第50回全体会議

分科会資料

- ① 技術力の確保・向上 分科会資料No.1
- ② 維持管理・危機管理 分科会資料No.2
- ③ 施工・品質確保 分科会資料No.3

「地域を支える建設業」検討会議
令和5年度 第2回 技術力の確保・向上分科会 報告（概要）

1 開催日時 : 令和5年11月21日（火） 15:30～17:00

2 開催場所 : 長建ビル 3階会議室

3 議 事

（1）建設現場の働き方改革について

① 県から「週休2日工事の発注者指定型への移行について」説明があった。

※ 令和5年10月1日以降に起工起案する建設部発注工事について、発注者指定型を基本とするが、適用除外、対象外となる期間の考え方について説明された。

② 県から「建設工事に係る工期の設定方法等の一部改定について」説明があった。

※ 猛暑日を考慮した工期設定へ改定されるとともに、著しい悪天候や気象状況より作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は工期延長を協議することができることの説明があった。

（2）建設業における就労促進について

・ 県から「次世代を担う若者の就労促進に係る取組について」説明があった。

※ 協会や学校などとの協働による見学会や仕事体験学習など将来の入職につながる取組が紹介された。

（3）令和5年度全国建設業協会要望について

・ 協会から、11月17日に決定した全国建設業協会の要望内容を説明した。

※ 公共事業関係費の確保、資材価格高騰への対応、来年4月に迫った時間外労働の上限規制の適用や働き方改革への対応など主な要望内容について説明した。

（4）建設業協会における就労促進の取組について

協会から、8月以降の主な取組状況を報告した。

- ・ 9月27日開催 信州大学工学部水環境・土木工学科学生との意見交換会
- ・ 10月16日開催 木島平中学校「職場体験学習・防災学習」
- ・ 10月28日開催 信州大学工学部建築学科現場見学会

第 43 回維持管理・危機管理分科会 報告（概要）

- 1 開催日時：令和5年12月14日（木）13:15～14:45
- 2 開催場所：長建ビル会議室
- 3 報告事項及び打合せ事項について（アンダーライン部分は協会からの意見・要望等）

■ 県からの説明事項

- (1) 総合評価落札方式における工事及び業務成績評定点評価の見直しについて

総合評価落札方式における工事成績評定点の評価について、競争性に係る課題への対応として、上限とされている工事成績評定点 80 点を 86 点に見直す案の説明があった。

- ・ 見直し内容（案）について理解した。

- (2) 長野県優良技術者表彰制度の見直しについて

担い手の確保・育成に対し効果的となるよう、建設工事における優良技術者表彰制度については、令和6年度より「発注者の推薦方式」で、総合評価落札方式での加点は「大規模・難工事のみ加点」に見直す案の説明があった。

- ・ 実施時期については、来年度の優良技術者表彰を目指している今の技術者に配慮し、令和7年度からとすることも考えられる。全体会議で本意見も踏まえて議論したい。

- (3) 建設工事の総合評価落札方式における評価項目の見直し

前回の総合評価落札方式（工事成績等簡易型）における女性技術者配置への評価に加え、総合評価落札方式（工事成績等簡易Ⅱ型、地域貢献等簡易型）においても評価する見直すことについて説明があった。

- ・ 理解した。今後、若手技術者と合わせ、応札状況を検証されたい。

■ 協会からの報告事項

- (1) 小規模な箇所が点在する災害復旧工事の調査結果について

小規模な箇所が点在する災害復旧工事の採算性に係る調査結果について説明があった。

- ・ 災害復旧工事に係る変更設計協議について、意見交換を実施。

- (2) 透過型砂防堰堤工事の採算性の調査結果について

第48回全体会議の意見交換を踏まえ実施した、透過型砂防堰堤工事の採算性に係る調査結果について説明があった。

- ・ 鋼材の資材単価、資材の仮置き場や小運搬、クレーン等機材の稼働率と実作業期間等を踏まえた積算、生コンの供給状況による補正、工場検査等出張経費について意見交換を実施。

- ・ 中部地方整備局が今年度試行した「まるごと見積方式」も検討してほしい。

■ 意見交換

- ・ 総合評価落札方式における ICT ならびに週休2日への取組実績評価の対象期間が2年と短く、長期の現場に関わった技術者が不利益となるため、配慮されたい。

- ・ 猛暑日による工期延長等に伴う増加費用の積算は、現在間接工事費でのみとなっているが、実情を踏まえ、直接工事費での対応を検討されたい。

第2回「施工・品質確保分科会」実施概要

(アンダーライン部分は協会からの意見等)

1 開催日時：令和5年11月27日(月)13:15~15:00

2 開催場所：長野市 長建ビル5階会議室

3 議事

(1) ICT・BIM/CIM等の取組みについて

(技術管理室)「ICT活用実施方針」は対象工事として構造物工(橋梁上部)を追加とし、又、国の方針に準じて長野県バージョンの「BIM/CIM適用に関する実施方針」をR5.10.1より適用とした。なお、令和5年度のBIM/CIM活用件数については、58件でそのうち2件が工事の予定である。

(農地整備課)R5.9より「ICT活用工事実施の手引き」が改訂され、水路、暗渠排水、ため池改修工事が追加となった。

(協会)ほ場整備などは、3次元による施工が有効であると思われるため、より積極的な活用ができるような対応をお願いしたい。

(2) 工事書類簡素化について

(技術管理室)簡素化はこれまでも取り組んできたが、今回法令等で提出等を定めていない書類は検査対象外とし、検査時に不要な書類を添付しても成績評価で加点しないこととしたい。個別書類については、技士会などとも意見交換し検討を進めたい。

(3) 優良技術者表彰制度について

(技術管理室)本制度の効果として、一定の品質向上は計られたが、安心安全を担う「地域の守り手」への評価を高めるため、「発注機関の推薦方式」に見直したい。具体的には、発注機関へ枠を示し、各機関ごとにそれぞれ推薦者を検討することとなるが、点数のみでなく、地域の事情などを考慮のうえで決定する。

(協会)国交省は夏に公表しており、県も発表時期を早めていただければと思う。

(4) 災害復旧工事における点在箇所の課題検討について

(技術管理室)7月に検討会を行い、各立場からいろいろご意見をいただいた。会議中、災害復旧工事だから設計変更できないとするのではなく、他の工事と同様に、条件が変更となれば変更の対象となりうることを確認したところ。

(協会)災害復旧工事は、採算が合わない工事が多く、業者がいやがることもある。また、仮設パイプの損料が10%(建設部工事)と低く、工期が長くなる中、費用が合わないことがあるため改善を求めたい。

(5) 建築関係

① 信州健康ゼロエネ住宅普及促進について

(技術管理室) この11月に長野県ゼロカーボン戦略ロードマップが示され、当面2030年度に6割削減を目指して、「信州健康ゼロエネ住宅」の推進を図っており、住宅助成金申請も昨年度より大幅に伸びている。普及促進のため、10月より、「信州健康ゼロエネ住宅専用ウェブサイト」を立ち上げて様々なPRを行っている。

② 信州大学工学部建築学科現場見学会実施状況

(協会) 5月に信州大学と建設業協会が包括連携協定を締結したところであるが、10月28日に実施した現場見学会について紹介した。

(6) その他技術的諸課題等について(県からの情報提供)

・長野県建設工事等入札参加資格申請における新客観点数について

(技術管理室) 建設工事の入札参加資格の「資格総合点数制度」見直しを行っており、今後パブコメを予定している。

(協会) 週休2日制の促進については、日雇いの職人などはかえって収入が減り、今後職人の確保が難しくなっていくことも考えられるため考慮してほしい。

・令和5年度 技術者セミナー開催状況について

(技術管理室) 開催済みが12事務所、開催予定が2事務所、調整中が2事務所である。

・森林土木工事の積算等の改善について

(森林政策課) 本年4月の国の積算基準の改正を踏まえ、県でも本年10月1日付けで改定をしたところであるが、近年、入札不調が1割ほど発生しており、実態調査を行って今後も必要な改善をしていきたい。

(協会) 治山工事などは採算が取れないことがあり改善を期待したい。